

テスト名	GTEC(Global Test of English Communication)												
1. 運営事業団体	ベネッセコーポレーション												
2. テスト作成母体	ベネッセコーポレーションとベルリッツ コーポレーションの共同開発。												
3. 主たる受験対象	大学生・グローバル企業の社員など、ビジネスで英語を必要とする学習者												
4. 目的	(1)「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能測定で総合的なコミュニケーション能力を測定する。(2) 受験者の能力レベルに対応する出題方式とビジネスシーンを想定した出題内容で、実践的な												
5. 構成概念の構成	Listening			Reading			Writing			Speaking			
	即応性や情報選択と要点理解など多角的に			読みの下位技能に着目し、英文読解の能			ビジネス・生活に直結した内容で「書く」能力			なシチュエーションと課題で発音～「話す」能力を測			
6. テストの性質 (テキスト・タスクの性質など) ・項目数	Part A	Part B	Part C	Part A	Part B	Part C	Part A	Part B	Part C	Part A	Part B	Part C	Part D
	写真説明問題 ／イラスト説明問題	会話応答問題	要点理解問題	語彙語法問題	速読・要点理解問題	長文理解問題	短文・メモ書き問題	中文・メール作成問題	レポート作成問題	発音・リズム・イントネーション	会話シミュレーション問題	ストーリーテリング問題	ショートプレゼンテーション問題
	与えられた視覚的情報(1枚の写真／イラスト)をもとに、ある状況や場面、事物を描写説明した単文レベルの複数の英文を正しく聞き分ける力を測定。 ・7問	事前予測ができる情報がない中で、会話的な不意の問いかけに対する適当な応答英文を素早く判断し処理できる力を測定。 ・10問	一定以上の長さの音声英文の中から、事前に与えられた英文質問に答えるために必要な情報を選択し、求められている解答を導くための適切な判断を行う力を測定。 ・10問	単文レベルの英文の中で、文脈的なつながりを理解し、かつ文法的に、また語彙選択上で最も適切な表現を正確に判断できる力を測定。 ・12問	比較的短い英文テキスト(150語)から、英文の主意に関する内容や要点について理解できる力を測定。 ・7問	まとまった量の英文テキスト(350語)から、英文の主意に関する内容や詳細部分の要点について理解し、必要な情報を読み取る力を測定。 ・2問(各小問3問)	簡単なメモを書いて、与えられたシチュエーションの中で適切な語彙・表現で課題を達成できるかどうかを測定。 ・1問	電子メールを初めとする簡潔な要件を伝える文章を作成する課題を通じ、英文による伝達能力、課題達成能力を測定。 ・1問	図や写真などを補助に、ビジネス関連のテーマで文章による説明、意見記述、文章構成能力を測定。 ・1問	指定された英文を読み上げる課題で、発音・イントネーションなどの下位的なスピーキング能力を測定。 ・1問	ビデオ映像を使用した対話形式で、課題を達成するための語彙・表現力、文法的正確性、コミュニケーション・ストラテジー能力を測定。 ・1問(小問3問)	9コマのマンガの説明を1分間で録音。口頭による説明能力、英文構成能力を統合的に測定。 ・1問	図や写真などを補助に、ビジネス関連のテーマで口頭による説明能力、英文構成能力を統合的に測定。 ・1問
7. 採点基準(形式)	3択択一	3択択一	4択択一	4択択一	4択択一	4択択一	指示されている全ての内容をしっかりと入れて、きちんと相手に伝わるように英文を作ることが必要。英文として正しければ書き方はどのように書いても評価されるため、正確に英文を書く必要	それぞれの文章形式に則った上で、用件をすべて盛り込んで、相手に伝わるものを書く必要がある。文法や語彙も評価されるため、正確に英文を書く必要	指定されている要件が入っていれば、自分なりの表現をして構わないのが、このパートの特徴。	できるだけネイティブスピーカーに近い発音や抑揚になるように意識して読むようにする。	指示はすべて盛り込みながら、シチュエーションに沿った会話することが必要。	スピーキング能力のうち、時系列的に起こった出来事を相手に説明する力があるかどうかを試す問題。	単に英語を話すだけではなく、論理的に考えて、それを表現することが要求される。
8. 得点	0-250			0-250			0-250			0-250			
9. 評価・Feedback	・受験結果を詳細に分析したスコアレポートで見ることができる												
10. 受験時間	3分	4分	6分	8分	7分	9分	4分	8分	14分	45秒	2分30秒	5分 (準備2分 +録音1分)	5分 (準備3分 +録音2分)
11. 受験者数	非公開だが、800以上のグローバル企業・大学団体に導入												
12. 受験料	¥12,600(個人受験)、 ¥9,450(企業／団体受験)(2013年1月現在)												
13. ウェブサイト	http://www.benesse.co.jp/gtec/index.html												
14. その他(変化・特徴など)	・項目反応理論を取り入れている。 ・高校生を対象とした、GTEC for Studentsは「読む、聞く、書く」の3技能を測定。全国で37万人の中高生が受験し、約200大学が入試優遇として利用。												
感想	4技能測定テストとしては、短時間で値段もそれほど高くないため、利便性の高いテストである。(R.F.2013.2.14現在)												